



## 平成24年7月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年3月8日

上場会社名 株式会社 ドクターシーラボ  
 コード番号 4924 URL <http://www.ci-labo.com/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 石原 智美  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役財務部長 (氏名) 小杉 裕之

TEL 03-6419-2500

四半期報告書提出予定日 平成24年3月9日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成24年7月期第2四半期の連結業績(平成23年8月1日～平成24年1月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年7月期第2四半期	18,250	4.5	5,029	△2.3	5,045	△1.9	2,969	4.0
23年7月期第2四半期	17,463	15.8	5,148	20.3	5,144	20.5	2,853	18.8

(注) 包括利益 24年7月期第2四半期 2,956百万円 (3.9%) 23年7月期第2四半期 2,844百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年7月期第2四半期	11,826.56	11,820.46
23年7月期第2四半期	10,543.20	10,527.08

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
24年7月期第2四半期	20,326	15,648	77.0	62,310.37
23年7月期	20,190	14,358	71.1	57,193.31

(参考) 自己資本 24年7月期第2四半期 15,647百万円 23年7月期 14,358百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年7月期	—	—	—	6,700.00	6,700.00
24年7月期	—	—	—	—	—
24年7月期(予想)	—	—	—	7,900.00	7,900.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成24年7月期の連結業績予想(平成23年8月1日～平成24年7月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	41,000	13.2	11,300	10.3	11,280	10.8	6,610	10.2	26,328.89

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### 4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料P. 3、2(2)「四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

24年7月期2Q	254,131 株	23年7月期	280,868 株
24年7月期2Q	3,000 株	23年7月期	29,813 株
24年7月期2Q	251,089 株	23年7月期2Q	270,691 株

#### ※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

#### ※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想に関する事項は、P. 3、1.(3)連結業績予想に関する定性的情報をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	3
2. サマリー情報（その他）に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
(4) 追加情報 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	8
(4) 継続企業の前提に関する注記 .....	9
(5) セグメント情報等 .....	9
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災の影響による経済活動の停滞から緩やかに持ち直す兆しが見られたものの、欧州の財政不安による株価の低迷や円高の長期化等により、景気の先行きは不透明な状況が続いております。

このような環境の中、当社グループは第三次中期経営計画の2年目として、既存顧客の継続のご購入回数の上とテレビCM放映による新規顧客の獲得を軸とした長期的成長基盤の確立に取り組んでおります。

販路別に見ますと、通信販売は、新規購入者数が伸び悩みましたが、累計販売個数500万個突破を記念して限定発売した「アクアコラーゲンゲルエンリッチリフトEXスペシャル」が好調な売れ行きとなる等、既存顧客による購買は好調に推移しました。また、新規購入から1ヶ月後のお客様に対して、電話による受注促進施策を実施し、リピート顧客化の促進を図りました。以上により、通信販売の売上高は11,784百万円となり、前年同期と比較して12.8%増加しました。

対面型店舗販売は、直営・百貨店では新規顧客の獲得が伸び悩んでいるものの、既存顧客の来店が促進されたことにより、限定発売したビッグサイズゲルの店頭での販売が好調に推移しました。GMSにおいては、売場認知度を向上させるイベントを推進することで新規顧客を獲得するとともに既存顧客の購買も堅調に推移しました。また、売上上位店舗を集中強化する取り組みを新たに開始し、徐々にその効果が現れております。以上により、対面型店舗販売の売上高は2,317百万円となり、前年同期と比較して6.3%増加しました。

卸売販売は、当期の注力商品として位置づけている「ハーバルO<sub>2</sub>シリーズ」の販売が想定を下回ったことや同シリーズの導入に注力したことにより「アクアコラーゲンゲルシリーズ」や「BBパーフェクトクリーム」等の売れ筋商品の販売が伸び悩んだこと、ラボラボブランドのリニューアルを控えていることに伴う在庫調整等を主因として厳しい状況が続いております。以上により、卸売販売の売上高は3,719百万円となり、前年同期と比較して15.6%減少しました。

海外においては、香港では、臨時店舗を2店舗出店したことが売上高を押し上げ、好調に推移しました。シンガポール・マレーシアでは、クリスマス向けセット商品の現地販売が好調に推移し、韓国では、日本人観光客の購買が引き続き好調であるとともに現地のお客様の購買者数も堅調に増加しております。しかし、米国においては、卸先を優良店舗に縮小した影響を受けるとともに、小売価格改正を控えている為、積極的な営業を抑えたことにより厳しい状況となりました。さらに、主力地域である台湾がTVショッピング販路の放映網が縮小した影響を受けて伸び悩み、海外全体としては、前年同期を下回る結果となりました。以上により、海外事業の売上高は428百万円となり、前年同期と比較して0.2%減少しました。

利益面では、売上高営業利益率が27.6%（前年同期実績29.5%）、売上高四半期純利益率が16.3%（前年同期実績16.3%）となりました。当第2四半期連結累計期間は、想定よりも売上高が伸び悩んだことや第3四半期に主力商品を多数リニューアルすることに伴う在庫評価損98百万円を計上したことにより売上高営業利益率が前年同期と比較して悪化しました。

以上により、売上高は18,250百万円（前年同期比4.5%増）、経常利益は5,045百万円（前年同期比1.9%減）、四半期純利益は2,969百万円（前年同期比4.0%増）となりました。

事業の種類別セグメントの概況については、以下のとおりです。

#### <化粧品事業>

化粧品事業は、ドクターシーラボブランドは、引き続き「アクアコラーゲンゲルエンリッチリフトEX」が好調に推移するとともに、限定発売した「アクアコラーゲンゲルエンリッチリフトEXスペシャル」が好調な売れ行きとなり、同商品に対するお客様の高い支持を再確認することができました。また、目元用クリーム「エンリッチリフトアイ」を新発売し、リフトケアを訴求するエンリッチリフトラインの商品展開を強化しました。ラボラボブランドは、「アスタモイスチャーダブルクレンジング」「アスタモイスチャーピーリングローション」を大手流通企業と共同開発し、限定発売しましたが、既存商品において大きなPR活動を行っていないことやリニューアルを控えていることに伴う在庫調整等を主因として前年同期実績を下回る結果となりました。ジェノマーブランドは、主力販路である直営・百貨店での販売が堅調に推移しているとともに、通信販売での販売実績を大きく伸ばしております。

以上により、化粧品事業の売上高は17,354百万円（前年同期比3.0%増）となりました。

#### <健康食品事業>

健康食品事業は、健康・ダイエット食品「美禅食」や「プラセンタEXⅡ」が好調に推移しました。また、美容ドリンク「プラセンタゴールド」をリニューアル新発売する等、50代以上のお客様の増加を受け、美容だけでなく健康維持にも効果的な“プラセンタ”を使用した商品ラインナップの強化を図りました。

以上により、健康食品事業の売上高は、896百万円（前年同期比45.0%増）となりました。

## (2) 連結財政状態に関する定性的情報

### ①財政状態の変動状況

#### (資産)

資産合計は、前連結会計年度末と比較し、136百万円増加いたしました。これは主に売掛金が519百万円減少した一方、業績が堅調に推移したことにより現預金が882百万円増加したことによります。

#### (負債)

負債合計は、前連結会計年度末と比較し、1,152百万円減少いたしました。これは主に未払金が584百万円減少したことに加え、法人税の納付により未払法人税が283百万円減少したことによります。

#### (純資産)

純資産合計は、前連結会計年度末と比較し、1,289百万円増加いたしました。これは主に配当金による剰余金の処分1,682百万円を行った一方、当第2四半期連結累計期間純利益2,969百万円を計上したことによります。

### ②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は8,722百万円となり、前連結会計年度末より882百万円増加いたしました。各キャッシュ・フローの状況とそれらの主な要因は次のとおりであります。

#### (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は、2,723百万円となりました。これは主に法人税等の支払2,328百万円及び未払金の支払537百万円により資金が減少した一方、税金等調整前四半期純利益5,019百万円及び売上債権の流入580百万円が資金の増加要因となったことによります。

#### (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用された資金は、169百万円となりました。これは主に有形固定資産の取得57百万円、無形固定資産の取得103百万円を支出したことによります。

#### (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用された資金は、1,658百万円となりました。これは主に配当金の支払1,673百万円によります。

## (3) 連結業績予想に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間における業績は、当初予想を下回る水準でありましたが、主力販路である通信販売の業績の回復が顕著であることや、第3四半期連結会計期間以降に大型商品のリニューアルを控えていること及びハーバルO<sub>2</sub>シリーズの積極的な展開を計画していることにより業績の回復を見込んでいることを勘案し、平成23年9月8日付「平成23年7月期決算短信」にて発表の通期の連結業績予想を据え置いております。

## 2. サマリー情報（その他）に関する事項

### (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

### (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

なお、法人税等調整額は、法人税等に含めて表示しております。

### (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

### (4) 追加情報

#### (会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準等の適用)

第1四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」（企業会計基準第24号 平成21年12月4日）及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日）を適用しております。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年7月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年1月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	7,839,768	8,722,698
売掛金	5,371,901	4,852,792
有価証券	291,017	291,108
商品及び製品	1,886,912	1,812,589
原材料及び貯蔵品	1,156,590	1,173,378
その他	743,677	802,001
貸倒引当金	△256,557	△264,770
流動資産合計	17,033,310	17,389,797
固定資産		
有形固定資産		
建物	242,072	245,763
減価償却累計額	△142,165	△150,588
建物（純額）	99,907	95,175
工具、器具及び備品	1,060,655	1,093,672
減価償却累計額	△801,647	△837,311
工具、器具及び備品（純額）	259,007	256,361
有形固定資産合計	358,914	351,536
無形固定資産		
ソフトウェア	724,917	655,112
その他	103,770	56,060
無形固定資産合計	828,687	711,172
投資その他の資産		
投資不動産	1,628,634	1,628,634
減価償却累計額	△69,758	△73,151
投資不動産（純額）	1,558,876	1,555,483
その他	410,435	318,657
投資その他の資産合計	1,969,311	1,874,141
固定資産合計	3,156,914	2,936,850
資産合計	20,190,225	20,326,647

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年7月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年1月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	799,056	607,770
未払金	1,960,420	1,376,334
未払法人税等	2,383,552	2,099,789
賞与引当金	87,006	103,745
ポイント引当金	132,927	114,482
その他	331,569	234,309
流動負債合計	5,694,532	4,536,432
固定負債		
退職給付引当金	69,798	78,388
その他	67,228	63,761
固定負債合計	137,026	142,149
負債合計	5,831,558	4,678,582
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,189,540	1,196,397
資本剰余金	1,666,940	1,673,796
利益剰余金	19,811,733	13,715,453
自己株式	△8,209,873	△826,136
株主資本合計	14,458,340	15,759,510
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△10,235	—
為替換算調整勘定	△89,438	△112,394
その他の包括利益累計額合計	△99,673	△112,394
新株予約権	—	950
純資産合計	14,358,666	15,648,065
負債純資産合計	20,190,225	20,326,647

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
(四半期連結損益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成22年8月1日 至 平成23年1月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年8月1日 至 平成24年1月31日)
売上高	17,463,255	18,250,711
売上原価	3,089,038	3,219,281
売上総利益	14,374,216	15,031,429
販売費及び一般管理費	9,225,650	10,001,968
営業利益	5,148,566	5,029,461
営業外収益		
受取利息	1,949	1,275
受取配当金	106	113
投資事業組合運用益	—	14,431
受取手数料	4,724	6,565
償却債権取立益	—	4,802
商品破損受取賠償金	4,862	1,669
その他	2,693	3,264
営業外収益合計	14,335	32,123
営業外費用		
為替差損	14,306	9,247
支払手数料	—	3,049
減価償却費	3,654	3,395
その他	41	862
営業外費用合計	18,003	16,554
経常利益	5,144,898	5,045,030
特別利益		
固定資産売却益	—	158
特別利益合計	—	158
特別損失		
投資有価証券評価損	—	21,200
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	37,934	—
減損損失	4,372	2,572
固定資産除却損	3,469	1,928
その他	2,238	—
特別損失合計	48,015	25,701
税金等調整前四半期純利益	5,096,883	5,019,487
法人税等	2,242,928	2,049,963
少数株主損益調整前四半期純利益	2,853,954	2,969,524
少数株主利益	—	—
四半期純利益	2,853,954	2,969,524



(四半期連結包括利益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年8月1日 至平成23年1月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年8月1日 至平成24年1月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	2,853,954	2,969,524
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△609	10,235
為替換算調整勘定	△8,387	△22,955
その他の包括利益合計	△8,997	△12,720
四半期包括利益	2,844,957	2,956,803
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,844,957	2,956,803
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成22年8月1日 至 平成23年1月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年8月1日 至 平成24年1月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	5,096,883	5,019,487
減価償却費	242,939	238,230
長期前払費用償却額	8,272	4,633
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	30,006	8,212
賞与引当金の増減額 (△は減少)	5,399	16,738
ポイント引当金の増減額 (△は減少)	13,090	△18,445
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	6,657	8,590
受取利息及び受取配当金	△2,055	△1,389
投資有価証券評価損益 (△は益)	—	21,200
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	37,934	—
減損損失	4,372	2,572
固定資産除却損	3,469	1,928
売上債権の増減額 (△は増加)	253,417	580,457
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△141,234	55,864
仕入債務の増減額 (△は減少)	△139,652	△189,901
未払金の増減額 (△は減少)	△419,928	△537,393
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△101,800	△36,368
預り金の増減額 (△は減少)	△66,721	△57,086
その他	1,786	△65,891
小計	4,832,836	5,051,440
利息及び配当金の受取額	1,949	1,275
法人税等の支払額	△2,699,511	△2,328,778
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,135,273	2,723,938
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△53,786	△57,477
無形固定資産の取得による支出	△179,379	△103,598
差入保証金の差入による支出	△1,012	△4,820
差入保証金の回収による収入	1,295	100
その他	△4,470	△4,088
投資活動によるキャッシュ・フロー	△237,353	△169,885
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
株式の発行による収入	2,991	13,713
配当金の支払額	△860,855	△1,673,327
その他	—	950
財務活動によるキャッシュ・フロー	△857,863	△1,658,663
現金及び現金同等物に係る換算差額	△8,297	△12,459
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	1,031,758	882,930
現金及び現金同等物の期首残高	10,735,959	7,839,768
現金及び現金同等物の四半期末残高	11,767,717	8,722,698

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

[セグメント情報]

I 前第2四半期連結累計期間(自平成22年8月1日 至 平成23年1月31日)

当社グループの報告セグメントは、化粧品事業及び健康食品事業であります。健康食品事業の全セグメントに占める割合が僅少であり、開示情報としての重要性に乏しいため、セグメント情報の記載を省略しております。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成23年8月1日 至 平成24年1月31日)

当社グループの報告セグメントは、化粧品事業及び健康食品事業であります。健康食品事業の全セグメントに占める割合が僅少であり、開示情報としての重要性に乏しいため、セグメント情報の記載を省略しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当社は、平成23年8月4日開催の取締役会において、自己株式の消却を行うことを決議し、平成23年8月19日付で、自己株式を消却いたしました。この結果、当第2四半期連結累計期間において、利益剰余金及び自己株式がそれぞれ7,383,736千円減少し、当第2四半期連結会計期間末において、利益剰余金が13,715,453千円、自己株式が△826,136千円となっております。